

## 総務文教委員会

市の総合企画部、総務部、財政部、地域振興部、出納室、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会及び監査委員の所管に属する事項等に対応する委員会です。

◎高橋 誠 ○北本周作  
黒見節子、佐々木裕子、田口慎一郎、原 行則  
久永良一、米井知博

十二月定例市議会では、付託のあった議案六件、継続審査中の請願二件を審査した。  
議案第六十一号「平成二十年度一般会計二次補正予算」では、総務関係で、福南公民館と加茂町公民館の整備事業などについて質疑があり、教育関係では、学校職員の配置・任用換え、学校給食会への貸付金などについて質疑があった。この議

案は、全員一致で原案可決とした。

議案第九十四号「平成二十年度一般会計三次補正予算」では、財政調整基金などについて質疑があり、全員一致で原案可決とした。

議案第八十九号「久米山ふれあいロッジの指定管理者の指定」では、指定管理者制度で、いわゆる派遣労働者のワーキングプアが見られることから反対の意見もあったが、賛成多数で原案可決とした。

議案第七十一号「監査委員条例の一部改正」、議案第九十号「過疎地域自立促進市町村計画の変更」、及び議案第九十一号「土地開発公社定款の一部変更」は、審査の結果、全員一致で原案可決とした。

継続審査中の平成十九年度請願第十一号「永住外国人への地方参政権の付与に慎重な対応を求める請願」、及び平成二十年度請願第一号「教育改革に関する意見書採択の請願書」は、全員一致で継続審査とした。



視察日程

平成二十年十一月十日(月)

～十二日(水)

### 場所と目的

東京都練馬区

●協働による防災対策について

群馬県太田市

●行財政改革と市民サービスの

両立について

東京都荒川区

●学校パワーアップ事業について

練馬区では、今後三十年間で

の発生率が七十％という東海沖地震を前提に、行政だけでなく住民も危機意識を持って、普段からの防災対策を充実させている。当市ではまず、災害対策に対する意識の維持が課題と思われる。

太田市では、「行政は市民を顧客とする企業であり、顧客である市民の意向を重視する」として、行財政改革を推進している。行財政改革を推進すれば市民サービスが低下するよう思われがちだが、市民サービスの向上のために行財政改革を進めている。荒川区は、以前から学力向上に民間企業とのタイアップを取り入れている。各学校に予算措置され、それぞれ特色ある事業を「学校パワーアップ事業」として展開している。私立校との競争もあり、今後の成果に対する第三者評価、事業達成できなかった場合の学校・子供への対応が課題となろう。

◎ 後援会が、花環、香典、祝儀などを出すと処罰されます。